

## 指定管理者評価票（平成30年度）

全般的事項

施設名称：瑞穂町高齢者福祉センター寿楽

担当部課係：福祉部 高齢課 高齢係

1 指定管理者の名称	社会福祉法人瑞穂町社会福祉協議会
2 指定管理の期間	平成27年4月1日から平成32年3月31日まで 5年間
3 指定管理の目的及び求める効果	高齢者福祉センターが、高齢者の福祉の向上並びに健康の保持増進を図る場であるという、設置理念に基づき、効率かつ効果的運営と管理運営費の削減を目的とする。
4 指定管理の業務内容	1 高齢者福祉センターの運営に関すること 2 施設及び設備の維持管理に関すること
5 施設の概要	<p>(1)施設及びサービスの内容 1階 高齢者在宅サービスセンター、事務室 2階 高齢者福祉センター</p> <p>(2)規模 敷地面積 4,979.67㎡ 建築面積 1,240.32㎡ 延床面積 1,827.88㎡（1階962.21㎡、2階865.67㎡）</p> <p>(3)設備内容 1階 機能回復訓練室、日常動作訓練室、教養娯楽室、相談室外 2階 集会室、一般浴室、作業室、図書室、茶室 外</p> <p>(4)設置年月及び経過年数（導入時） 平成5年12月6日完成 （導入後14年経過）</p> <p>(5)建設費用 1,802,431,000円 内訳 地質調査費1,236,000円、土地鑑定費990,860円 設計監理費78,817,660円、用地買収費664,920,770円 工事費1,054,853,900円、その他1,611,810円</p> <p>(6)大規模改修の経緯と費用 外壁等改修工事 内訳 H27設計監理費978,480円、H27工事費17,496,000円</p> <p>(7)維持補修・改修の予定及び時期 維持補修 随時実施 改修 随時実施</p>
6 指定管理における具体的な目標	<p>(1)利用者へのサービス水準の向上目標 事業の増加を図り、より地域に密着したサービスに努める。サービス向上につながるものは柔軟に取り入れ、サービスの質を充実させる。</p> <p>(2)運営の効率化に関する目標 寿クラブとの連携を生かし、レクリエーション事業を実施することで健康の増進を図る。また、利用者の満足度や要望を把握し、適宜改善を行う。</p> <p>(3)施設維持管理費に関する削減目標 施設をいかに長持ちをさせるか、大切に使用できるかの検討を行い、更なる有効活用を図る。</p> <p>(4)その他の目標 地域の小学校や障害者福祉センター、保育園等との交流を図ることや、通年でボランティアの受け入れを実施することにより、開かれた施設運営を図る。利用者の個別相談にも応じ、ケース会議を開催したり、関係機関へつなげることにより地域福祉に貢献する。</p>
7 モニタリング（利用者の意見把握）の内容	施設利用者に対し、利用者協議会座談会などで意見を伺うことにより、意見把握を行っている。主催事業では実施後のアンケートにより利用者のニーズ調査を行っている。また、「寿楽への手紙」での質問の回答については、必要に応じて、寿楽新聞を通じて利用者へ周知している。

指定管理評価票（平成30年度） 個別項目・総括

施設の名称： 瑞穂町高齢者福祉センター「寿楽」

担当部課係： 福祉部 高齢課 高齢係

業務評価指標

		前指定末 (H26)	H27	H28	H29	H30	H31	
協定書・仕様書で示した事項	趣味、生きがい活動等の援助	27,701	30,386	31,171	29,230	28,669		人/年
	健康増進利用の集会室等の供与（老人クラブ）	1,970	2,075	1,972	1,771	1,680		人/年
	自立高齢者のデイサービス	1,680	1,610	1,772	1,882	1,979		人/年
	介護者等の研修及び指導	0	0	0	3	0		回/年
	施設利用者（一般）の送迎	958	1,043	907	1,155	1,147		人/年
	自立高齢者（デイ）の送迎	1,625	1,518	1,742	1,876	1,975		人/年
	自立高齢者（デイ）の給食	1,293	1,162	1,366	1,332	1,497		人/年
	機能向上訓練	249	249	246	247	249		回/年
	維持管理（大規模修繕）	6	3	3	0	2		回/年
	その他の修繕	18	9	12	19	5		回/年
開館日数等 (条例で示した施設目的の達成度)	条例で示した開館日数	299	299	298	297	298		日
	実開館日数	299	299	298	297	298		日
維持管理状態	受付対応人員（常駐）	2	2	2	2	2		人
	日常清掃	299	299	298	297	298		日/年
	特別清掃（床、特別清掃）	6	6	6	6	6		回/年

インプット指標（行政資源（歳出・人・物）の投入量）

		前指定末 (H26)	H27	H28	H29	H30	H31	
指定前の管理経費（町支出）または指定管理料（委託料）		51,535,000	49,935,000	49,935,000	49,935,000	49,935,000		円
指定前の管理経費（町支出以外）または指定管理料以外の支出金額		3,155,220	4,719,420	4,074,580	4,987,200	3,298,200		円
職員の投入実態		175,000	325,000	175,000	175,000	175,000		時間*人/週
物品の提供実態		0	0	0	0	0		円
インプット指標合計		54,865,220	54,979,420	54,184,580	55,097,200	53,408,200		円
提供物品の名称と数量：		0	0	0	0	0		

アウトプット指標（事業の活動量、活動実績）

		前指定末 (H26)	H27	H28	H29	H30	H31	
施設延べ利用者数		31,351	34,071	34,915	32,883	32,328		人/年間
実利用者内訳（町内外利用者別）	町内在住者	31,351	34,071	34,915	32,883	32,328		人/年間
	町外在住者	0	0	0	0	0		人/年間
施設稼働率 (施設稼働日数及び貸出日数)	貸出日数	299	299	298	297	298		日/年
	稼働日数	299	299	298	297	298		日/年
	稼働率	100%	100%	100%	100%	100%		
利用料収入		0	0	0	0	0		円
その他収入 ※H27より収入詳細を記載	事務所家賃 *1	0	0	0	0	0		
	事務所光熱水費 *1	0	0	0	0	0		
	高齢者福祉事業参加費	1,102,918	938,329	1,046,960	1,255,420	1,392,800		
	寄付金収入	0	4,064	6,850	5,000	5,142		
	受取利息配当金収入	0	3,696	291	207	243		
	雑収入	0	0	0	0	0		
	その他の活動による収入	0	234,918	176,905	155,714	358,564		
	施設設備利用料収入	1,249,820	1,313,097	1,315,180	1,598,596	1,628,890		
計	2,352,738	2,494,104	2,546,186	3,014,937	3,385,639		円	

※1 指定管理者が管理の範囲を超えて事務所を使用する場合の室料、光熱費等を計上する。

業務収支

収入の部		前指定末 (H26)	H27	H28	H29	H30	H31	
指定前の管理経費（町支出）または指定管理料		51,535,000	49,935,000	49,935,000	49,935,000	49,935,000		
指定前の管理経費（町支出以外）または公的援助		3,330,220	5,044,420	4,249,580	5,162,200	3,473,200		
利用料収入		0	0	0	0	0		
その他収入		2,352,738	2,494,104	2,546,186	3,014,937	3,385,639		
収入の部 合計	算定	57,217,958	57,473,524	56,730,766	58,112,137	56,793,839		円
	実収入	57,042,958	57,148,524	56,555,766	57,937,137	56,618,839		円

支出の部		前指定末 (H26)	H27	H28	H29	H30	H31	
人件費支出	職員給与	3,342,000	3,005,207	5,257,633	3,689,031	3,720,771		
	職員賞与	1,739,271	1,329,142	1,435,369	1,340,906	1,345,366		
	非常勤職員給与	19,087,598	20,678,391	19,087,282	19,571,144	18,990,560		
	法定福利費	1,978,694	1,671,227	2,299,485	2,195,441	1,773,499		
事務費支出	福利厚生費	116,682	138,995	135,948	102,988	87,296		
	研修費	0	4,320	5,000	8,970	0		
	手数料	72,196	74,296	65,824	23,504	5,668		
	渉外費	0	0	0	4,010	1,930		
事業費支出	諸謝金	798,400	788,900	786,650	766,400	739,400		
	旅費交通費	2,800	3,260	32,140	22,940	28,668		
	消耗器具備品費	953,324	950,575	1,089,163	1,312,448	1,258,081		
	印刷製本費	191,790	193,187	189,248	220,040	184,709		
	水道光熱費	9,971,811	8,897,023	8,041,197	8,586,668	8,857,254		
	車輛費	554,328	393,559	779,162	870,811	672,537		
	燃料費	419,804	332,657	372,341	395,717	392,714		
	修繕費	3,196,376	2,100,528	2,309,651	1,551,366	1,123,095		
	通信運搬費	546,655	591,361	552,064	526,714	533,118		
	業務委託料	9,535,023	9,505,157	9,417,020	8,994,549	9,013,510		
	保険料	612,819	592,054	641,995	713,126	634,716		
	賃借料	777,813	519,618	474,718	428,418	570,476		
	租税公課	5,950	4,400	3,000	4,800	3,800		
	給食費	64,265	59,878	61,743	51,380	43,306		
	教養娯楽費	151,921	122,280	137,261	149,994	159,561		
	軽食材料費	600,000	645,138	709,367	865,875	858,044		
	教育指導費	453,427	453,328	536,800	495,255	473,694		
法人税、住民税、及び事業税	616,100	300,000	300,000	360,000	612,900			
施設整備等支出	固定資産取得支出（器具及び備品）	1,990,980	0	510,596	510,596	525,653		
拠点区分間繰入金支出（退職給与、退職共済預け金）		3,395,600	628,400	586,080	560,440	322,600		
その他の活動による支出			30,707	0	0	0		
	退職共済預け金支出		77,280	0	0	0		
支出の部 合計		61,252,907	54,013,588	55,816,737	54,323,531	52,932,926		円

収支差引	算定	-4,034,949	3,459,936	914,029	3,788,606	3,860,913		円
	実収支	-4,209,949	3,134,936	739,029	3,613,606	3,685,913		円

指定管理者自己評価 ※平成24度分より追加

利用者数の増加への取組み	前指定末 (H26)	・新規主催教室の実施から、寿楽を利用したことがない方の発掘、また利用へ結び付ける取り組みを実施した。教室終了後の活動継続のための自主グループの立ち上げを進めた。 ・利用していない寿クラブへの利用呼びかけ。
	H27	・各種主催教室の実施することで、寿楽の新規利用者の発掘、また、引き続き利用に結び付ける取り組みを行っている。教室終了後の活動継続のための自主グループの立ち上げは引き続き進めている。・寿クラブへの利用呼びかけも随時行った。
	H28	・各種主催教室を実施することで、寿楽の新規利用者の発掘、また、引き続き利用に結び付ける取り組みを行っている。教室終了後の活動継続のための自主グループの立ち上げは引き続き進めている。・寿クラブへの利用呼びかけも随時行った。
	H29	・各種主催教室を実施することで、寿楽の新規利用者の発掘、また、引き続き利用に結び付ける取り組みを行っている。教室終了後の活動継続のための自主グループの立ち上げは引き続き進めている。・寿クラブへの利用呼びかけも随時行った。
	H30	・各種主催教室を実施することで、寿楽の新規利用者の発掘、また、引き続き利用に結び付ける取り組みを行っている。教室終了後の活動継続のための自主グループの立ち上げは引き続き進め、1団体新規に立ち上がる。・寿クラブへの利用呼びかけも随時行った。
収入増に対する取組み	前指定末 (H26)	・陶芸窯使用グループから利用料を徴収。 ・軽食コーナーのメニュー入替を季節ごとに実施することで、利用者が飽きないよう工夫し、大幅に収入を増やした。
	H27	・陶芸窯使用グループから利用料を徴収。 ・軽食コーナーのメニュー入替を季節ごとに実施することで、利用者が飽きないよう工夫し、収入増につなげている。
	H28	・陶芸窯使用グループから利用料を徴収。・カラオケ利用者から利用料を徴収。 ・軽食コーナーのメニュー入替を季節ごとに実施することで、利用者が飽きないよう工夫し、収入増につなげている。
	H29	・陶芸窯使用グループから利用料を徴収。・カラオケ利用者から利用料を徴収。 ・軽食コーナーのメニュー入替を季節ごとに実施することで、利用者が飽きないよう工夫し、収入増につなげている。
	H30	・陶芸窯使用グループから利用料を徴収。・カラオケ利用者から利用料を徴収。 ・軽食コーナーのメニュー入替を季節ごとに実施することで、利用者が飽きないよう工夫し、収入増につなげている。
コスト節減に対する取組み	前指定末 (H26)	・主催教室の低コスト（ボランティア活用等）実施に努めた。 ・節電、節水、節約等を推進した。
	H27	・主催教室の低コスト（ボランティア活用等）実施に努めた。 ・節電、節水、節約等を推進した
	H28	・主催教室の低コスト（ボランティア活用等）実施に努めた。 ・節電、節水、節約等を推進した
	H29	・主催教室の低コスト（ボランティア活用等）実施に努めた。 ・節電、節水、節約等を推進した
	H30	・主催教室の低コスト（ボランティア活用等）実施に努めた。 ・節電、節水、節約等を推進した

アウトカム指標（施設・事業がもたらす効用等）

		前指定末 (H26)	H27	H28	H29	H30	H31	
利用者の利便性改善	休館開館	0	0	0	0	0		日/年
	開館時間延長	0	0	0	0	0		日/年
プログラム等質の改善	送迎バスの増便	便数は18便	便数は18便	便数は18便	便数は28便	便数は28便		
	利用者協議会の設置	2	2	2	2	2		
利用者の満足度 (アンケート等客観的もの)	利用者協議会結果	結果：良好	結果：良好	結果：良好	結果：良好	結果：良好		
	座談会	1	0	1	1	1		

その他

		前指定末 (H26)	H27	H28	H29	H30	H31	
建設経費（元利返還費用）	建設費	1,802,431,000	1,802,431,000	1,802,431,000	1,802,431,000	1,802,431,000		円
	償還利息	141,319,455	141,319,455	141,319,455	141,319,455	141,319,455		円
利用者1人あたりの経費 (指定管理料等及び指定管理料等+建設経費)	利用者数	31,351	34,071	34,915	32,883	32,328		人/年間
	管理経費または指定管理料等	54,865,220	54,979,420	54,184,580	55,097,200	53,408,200		円
	管理経費または指定管理料等/人 (管理経費または指定管理料+建設費)/人	1,750 63,750	1,614 58,664	1,552 57,223	1,676 60,787	1,652 61,778		円/人
修繕費 (協定に基づく指定管理者負担上限額：70万円/件)	指定管理者が行った修繕	件数	24	12	15	19	7	件
		金額	3,196,376	2,100,528	2,309,651	1,551,366	1,123,095	
		内容	空調、発電機、陶芸窯、車両等	非常用発電装置、消火水槽不具合緊急対応等	空調外機内機コンプレッサー及び低圧用センサー修繕等	空調機内機及びドレンポンプ修繕等	冷凍冷蔵庫修繕、非常照明バッテリー修繕など	
	町が行った修繕	件数	1	1	2	2	0	
		金額	972,000	1,296,000	1,674,000	1,598,400	0	
		内容	分電盤(屋外用電灯・動力系)	自動ドア駆動ユニット交換修繕	GR付引込開閉器(PAS)、 個別蓄熱式電気温水器等修繕	個別蓄熱式電気温水器修繕(5月・2月)		
立ち入り検査状況	協定書による立入検査	0	0	0	0	0		
	臨時立入検査	0	0	0	0	0		
遵法検査 ・法で定められている場合、回数を記載。 ・それ以外の場合、法定外と記載。また、施設独自で同様の検査・指導を受けている場合は、その旨を記載。	消防設備点検（法定年2回）	2	2	2	2	2	回/年	
	冷暖房設備（法定1回）	2	2	2	2	2	回/年	
	自動ドア（法定外）	2	2	2	2	2	回/年	
	自家用電気工作物（法定年6回）	6	6	6	6	6	回/年	
	エレベーター	12	12	12	12	12	回/年	
	監視カメラ	0	0	0	1	1	回/年	
	簡易専用水道検査	1	1	1	1	1	回/年	
建築設備定期検査（法定年1回）	1	1	1	1	1	回/年		

総括

		H27	H28	H29	H30	H31		
経費比較 (指定前と指定後)  ※行政資源(指定管理料等・町職員人件費・物品提供金額)の投入実態を比較 「実経費」では指定管理料等のみを比較	算定	指定後	54,979,420	54,184,580	55,097,200	53,408,200		円
		前指定末(H26)	54,865,220	54,865,220	54,865,220	54,865,220		円
		比較	114,200	-680,640	231,980	-1,457,020		円
	実経費	指定後	54,654,420	54,009,580	54,922,200	53,233,200		円
		前指定末(H26)	54,690,220	54,690,220	54,690,220	54,690,220		円
		比較	-35,800	-680,640	231,980	-1,457,020		円
評価	前指定末(平成26年度)							
1次評価 担当課	施設利用者が前年と比べ約2.2%増となった理由は、一般利用者と自立高齢者(デイサービス利用者)の増によるものです。高齢者福祉センターでは、各種講座を実施しており、卒業者には自主グループ化を進めています。平成26年度末で自主グループ数は36となり、今後もさらにグループ化を進め増やしていく予定です。また現在、利用者の利便性を図るため、送迎バスの実施に併せて福祉バスの乗り入れも行っていきます。ただし、施設の老朽化は否めず、今後の修繕箇所の把握に努める必要があります。平成25年度より、寿クラブの支援も行っており、平成26年度西多摩ブロックの幹事町としての責務を果たしています。また、平成22年度より開始した軽食サービスについては、季節に応じたメニュー展開など、自主財源確保のための努力をしており、今後も多様化する住民ニーズを的確に把握し、サービスの向上を図るとともに、利用者の増、費用の削減を図るため更なる経営努力に励むよう指導監督します。							
2次評価 指定管理者選定委員会	【主な効果】 主催講座の受講生が自主グループを結成し施設利用するケースが増え、施設延べ利用者数は前年度対比約4%増となった。 【主な指摘】 施設の経年劣化に対応するため、修繕箇所の把握に努め計画的な修繕と施設の長寿命化について担当課と検討すべきである。							
評価	平成27年度(1年度目)							
1次評価 担当課	施設利用者が前年と比べ約8.6%増となった主な理由は、趣味・生きがい活動等の参加者と健康増進利用(老人クラブ)の伸びによるものです。高齢者福祉センターでは、各種講座を実施しており、卒業者には自主グループ化を進めています。平成27年度末で自主グループ数は37となり、今後もさらにグループ化を進め増やしていく予定です。また現在、利用者の利便性を図るため、送迎バスの実施に併せて福祉バスの乗り入れも行っていきます。ただし、施設の老朽化は否めず、平成27年度は外壁等改修工事を実施し延命に努めました。今後も修繕箇所の把握に努める必要があります。平成25年度からは寿クラブの支援も行っており、平成26年度には西多摩ブロックの幹事町として、平成27年度まで責務を果たしています。また、平成22年度より開始した軽食サービスについては、季節に応じたメニュー展開など、自主財源確保のための努力をしており、昨年度比6.7%の売り上げ増となっています。今後も多様化する住民ニーズを的確に把握し、サービスの向上を図るとともに、利用者の増、費用の削減を図るため更なる経営努力に励むよう指導監督します。							
2次評価 指定管理者選定委員会	【主な効果】 高齢者福祉センターで実施している、各種講座の卒業者による自主グループ化をはじめ、利用者増へ向けた軽食サービスの充実などの取組を行っている。 【主な指摘】 各種講座から自主グループ化に結び付けるような取組や、色々なアイデアで利用者の増加に結び付けるなど、毎年着実に成果が表れている。自主グループ数の増加とともに施設利用者の増加に期待する。							
評価	平成28年度(2年度目)							
1次評価 担当課	施設利用者が前年度と比べ約2.4%増となった主な理由は、一般利用者と自立高齢者(デイサービス利用者)の増によるものです。平成28年10月より地域包括支援センターが町内2か所となり、よりきめ細やかな対応ができるようになりました。その中のひとつとして、介護となる時期を少しでも遅らせるよう寿楽の利用促進を行った結果、特に介護予防事業参加者が前年度比約80%の伸びとなっていることと、デイサービス(要介護認定非該当が対象)利用者も前年度比約10%の伸びを示しています。そして、高齢者福祉センターでは、各種事業を実施する際、福祉バスの乗り入れ時間を考慮するなど、利便性の確保を行っています。また、午前午後を通した1日の利用者には、軽食サービスが大変好評です。年々売上げが伸びており、自主財源確保のため努力しています。施設の老朽化については、緊急修繕を行うなど対応していますが、今後も引き続き施設の延命に努め、サービスの向上と利用者の増、費用の削減を図るよう指導監督を行います。							
2次評価 指定管理者選定委員会	【主な効果】 介護となる時期を少しでも遅らせるよう寿楽の介護予防事業等の利用促進を行った結果、一般利用者と自立高齢者の施設利用者が前年度に比べ増加した。 【主な指摘】 ボランティアの活用等により主催教室の低コスト化を図っているが、質の低下とならないよう注意が必要である。更なる施設利用者の増加と経費削減を期待する。							

評価	平成29年度（3年度目）
1次評価 担当課	施設利用者が前年度と比べ約5%減となった主な理由は、一般利用者と老人クラブ利用者の減によるものです。一般利用者については、総合事業として実施している介護予防事業の参加者が、平成28年度に対し、平成29年度は、約60%になっています。現在参加に当たっては受益者負担として参加費をいただいていることも原因の一つになったと考えています。また、老人クラブが2クラブ減になったことも利用者減の大きな要因となりました。しかしながら、デイサービス（自立高齢者）の利用は増えており、送迎の車を1台増車をし、対応しました。高齢者福祉センターでは、各種事業を実施する際、福祉バスの乗り入れ時間を考慮するなど、利便性の確保を行っています。また、午前午後を通した1日の利用者には、軽食サービスが大変好評です。年々売り上げが伸びており、自主財源確保のため努力しています。施設の老朽化については、緊急修繕を行うなど対応していますが、今後も引き続き施設の延命に努め、サービスの向上と利用者の増、費用の削減を図るよう指導監督を行います。
2次評価 指定管理者選定委員会	<p>【主な効果】            デイサービスの利用者が増え、送迎車を1台増車し、また、各種事業を実施する際に、福祉バスの乗り入れ時間を考慮するなど、利便性の確保を行っている。軽食サービスも好評で、自主財源確保に努めている。</p> <p>【主な指摘】            今まで積み上げてきた改善策や成果などの実績に基づき、着実に管理運営を実施したものと考える。引き続き地域の拠点施設として、隣接する小学校や心身障害者（児）福祉センターとの更なる交流を通じ、地域福祉への貢献を希望する。</p>
評価	平成30年度（4年度目）
1次評価 担当課	施設利用者が前年度と比べ約1.7%減となった主な理由は、一般利用者と老人クラブ利用者の減によるものである。一般利用者については、寿楽納涼祭りが、荒天のため中止になったことが主な原因となっている。また、老人クラブが1クラブ休会になったことも利用者減の大きな要因となっている。しかしながら、デイサービス（自立高齢者）の利用は、増えている。デイサービスは、平成29年度から送迎の車を1台増車し、定員を8人から10人に増員したことで、利用者増となった。高齢者福祉センターでは、各種事業を実施する際、福祉バスの乗り入れ時間を考慮するなど、利便性の確保を行っている。また、午前午後を通した1日の利用者には、軽食サービスが大変好評である。年々売り上げが伸びており、自主財源確保のため努力している。施設の老朽化については、緊急修繕を行うなど対応しているが、今後も引き続き施設の延命に努め、サービスの向上と利用者の増、費用の削減を図るよう指導監督を行う。
2次評価 指定管理者選定委員会	<p>【主な効果】            デイサービス（自立高齢者）の利用は、平成29年度から送迎の車を1台増車したことで、利用者増となっている。各種事業の実施の際、福祉バスの乗り入れ時間を考慮するなど、利便性の確保を行っている。軽食サービスも好評で、自主財源確保に努めている。</p> <p>【主な指摘】            利用者や団体の意見や要望をもとに創意工夫し、利用者数が増加するような事業展開と、今後も、開かれた施設運営を目指すとともに、高齢者福祉の一層の充実に期待する。</p>